

質問

# 総合文教施設通学バス計画と 児童・生徒の登下校は どのような対応を考えているのか



関 忠 夫

**問** 三国、三俣、神立（芝原、七谷切）地区は、毎日の確実で安全な運行を確保する。下校時間は小学生用と中学生用の2便を運行する。運行ルートはどのように考えているか。乗車場所に待合所を設置するのか、伺いたい。

**答** 安全な運行を確保するために、専門業者への運行委託とすることとしている。基本的には国道17号がメインルートとなる。各地区とも可能な限り、地区内の小道等を通過し、乗降の便宜と安全確保を図りたいと考えている。乗降場所については、児童生徒の分布に合わせてその都度設定する。乗車場所に待合所を設置することは考えていない。

**問** 変動がある中で浅貝地区から現在の統合施設まで約25\*くらい距離的にはある。安全運行を行うための

時間はおおよそどれくらいを予定して運行させるのか。運行時間の予定を計画している時間とその辺の対応をどのように考えているのか。

**答** 具体的に通学班とかいろいろ希望を集約して11月21日に「湯沢学園に行こう」通学のシミュレーション等を行う。雪が降らないが、そういったシミュレーションなどを通して、来年4月までに細かいことを詰めて安全第一でやっていきたい。

**問** 湯沢・土樽地区は今現在も遠距離児童は路線バスを利用して通学している。概ね2.5\*以上をバス通学とする。ただし、概ね1.5~2.5\*の区間に住む1、2年生については徒歩がバス乗車を選択できる区域とする。「仮」スクールバス通学区域審査委員会」を設置し、統合的な視点から審議を行っている。通学区域審査委員会の組織メンバーと伺いたい。

5月から6月にかけて説明を行ってきた。「湯沢町スクールバス通学区域審査委員会」設置要項を可決された。審査等は各学校から選択区域の希望等が集約された8月頃に行く予定である。11月21日「湯沢学園に行こう」と題して、試験登校を実施する予定である。試験登校で問題点などを洗い出し、来年4月からの通学に向けて準備を進めていく。

**問** 神立地区は芝原・七谷切地区を除き、全て徒歩での通学としたいとしている。除雪作業の原則として除雪路線に10\*以上の積雪があった場合出動する。2、3種路線については15\*以上の積雪とする。降雪の多い日は小学校1、2年生は安全・安心に登下校できるのか、歩道の確保と対応策を伺いたい。

**答** 国道、県道、町道の幹線道路については、全て歩道が設置されており、雪みち計画により歩道除雪が行われている。歩行者空間確保は今までと同様である。歩道除雪は降雪状況にもよるが、早朝・午前・午後と実施されている。雪みち計画については、地域整備課から来年度に見直しを実施することになっているので、十分協議して計画していく。

**問** 登校時、下校時、一般

車両が突っ込んで児童を死亡するという事例が報道されている。1、2年生を含めた児童が安全に徒歩で登下校できるようなことはこれから真剣に考えて検討していただき、町民の皆さんに安全を提供できるようにしていただきたい。

**答** 登下校等の児童生徒等

## 質問 旧ノリタ光学跡地の 除染について

**問** 早ければ6月より工事ははじめられるよう、業者の選定を進めているとのことだが、現在の進捗状況はどのようなになっているのか伺いたい。

**答** 除染工事の業者選定と現在の進捗状況を報告する。土樽地区土壌汚染対策工事として、除染方法等の提案をしてもらう広報型のプロポーザルを採用して業者選定を行った。5社が参加登録した。審査を行った結果、五洋建設(株)北陸支店の提案が最も良いと判断し、選定業者として決定した。工事金額は3億9900万円となっている。工事については7月から始まり、11月末には終わる予定になっている。

**問** 追加調査による状況等が判明次第、必要な報告は行っていきたいので、よろしく願いたい。

**問** ノリタ工学の跡地、汚染がなくなったという保障がついた中で、湯沢町に欠けている就労の場所、雇用対策、これが大事になってくる。一刻も早く土壌の汚染を除去し、湯沢町に若者を含めた働く場所の確保を進めていただきたい。

**答** 除染作業をして、県の方から地下水汚染情報から削除してもらい、今、関議員指摘のように、若者が働ける企業を誘致できればと考えている。一日も早く除染を行い、使える場所になることを私も祈念している。